井草中コミュニティスクール便り　第2号

平成 20 年 3 月 10 日

学校評価アンケートの分析を行っています。

今年の冬は寒かったですが少しずつ暖かさが戻ってきました。学校の桜もほんの少しですがつぼみがついています。2 月 16 日の学校公開は、保護者の皆さまには授業をご覧いただけたでしょうか？

１月～2 月の井草中ＣＳでは、生徒、保護者、教職員の皆さまにご記入いただいた、学校評価アンケートに関する分析を行っています。保護者の方からいただいたご意見については、全て委員が目を通させていただきました。評価分析は統計調査の専門家である中澤委員を中心に、さまざまな角度から分析を行っています。

分析途中ではありますが、その一部をご報告いたします。

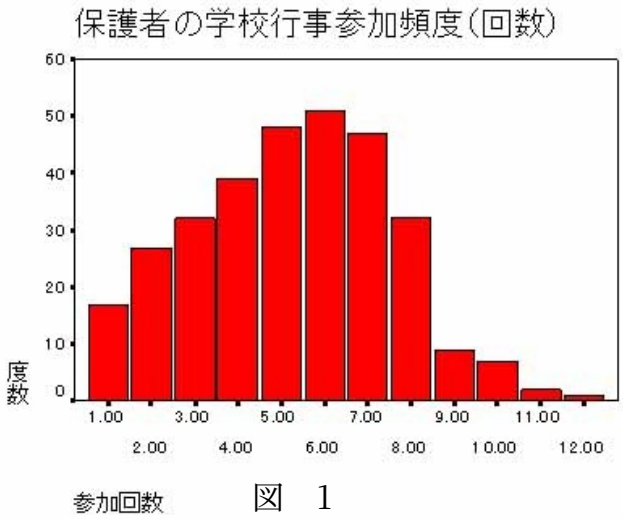


図　1

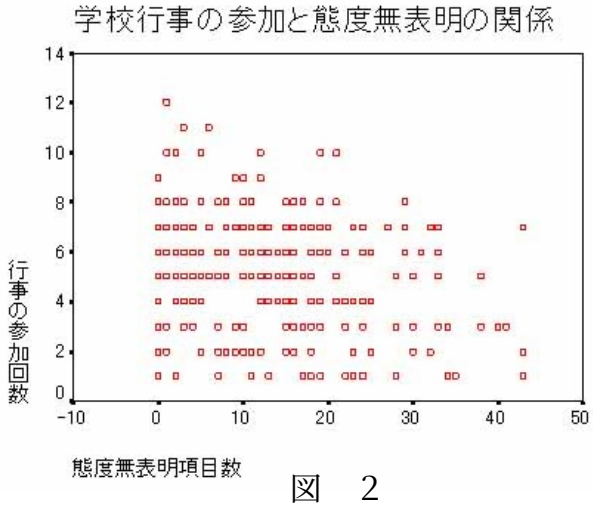


図　2

図１は、保護者の方の学校行事への参加頻度をまとめたものです。

今年度はＰＴＡのスローガン「学校へ行こう！」の言葉通り、多くの保護者の方に学校に足を運んでいただきました。（複数回、行事に参加いただいた方がたくさんいらっしゃいます！ありがとうございます。）　しかしながら、行事参加頻度と学校への評価に関しての関係を見ますと、多くの項目で負の相関（つまり学校に対する評価が厳しいほど、行事に出ていない傾向）があることがわかりました。（ＣＳ委員、教職員とも残念に感じているところです。）

図２は、アンケートの答えに「わからない」と答えた方（態度無表明と表します。）と、学校行事に参加した回数の関係を表しています。「わからない」と答えた項目の少ない方ほど、学校行事に多く参加している関係が出ています。また学校運営協議会（ＣＳ）を知っていますか？という質問と、行事の参加回数にも同様な関係が見られました。

今後もぜひ「学校へ行こう！」のスローガンどおり、何回も学校に足を運んで、学校の様子を見ていただきますようお願いいたします。

他にも、生徒のアンケート結果などから、学習の評価、総合学習の評価などを分析しています。アンケートは一部の追加した内容を除き、原則的に区内統一の質問内容となっており、質問の設定に課題もあります。しかし今回得られた貴重なデータを参考にしながら、学期末に向け次年度の教育目標の検討に入っています。皆様からの貴重なご意見を大切にしたいと思います。

井草中探訪　～リレーエッセイ第２回

青少年委員（井草中・三谷小担当）・井草中同窓会役員・地域支援本部“○（えん）”副会長
（地域でたくさんの顔をも持つ井草中生みんなのお母さん）石田　悦実さん

私が学んだ頃の井草中学校はまだまだ雑木林や畑が多く小川が流れ、のどかな田園風景（？）の中に建っておりました。１クラス 55～60 人、１学年８学級で教室のうしろは人がまったく通れない状態で、今では考えられない程の多くの生徒が学んでおりました。

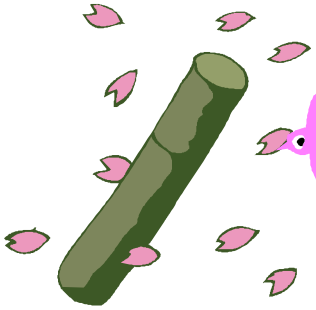
本年 1 月 15 日に井草中学校研究発表会が行われ「豊かな心を育てる指導のあり方」～地域のつながりの中で～というテーマで地域交流授業として同窓会について話をする機会をいただきました。

60 年前の創立当時の 2 階建て木造校舎から 13 年後に４階建て 8 教室（現在の東側校舎・・・）のみの鉄筋校舎が改築され、その後全校舎４階建てになった遍歴の写真や、井草中の同窓生が 12,000 人あまりいて多くの分野で活躍し、井草中学校を支える力になっていることや、3 年生が行っている「感謝のつどい」をお餅つきで応援していることなどを話しました。生徒から「昔の古い校舎と歴史ある写真や活動をお聞きして、たくさんの支えてくれる人たちがいるのだなー。」、「地域交流授業を通して知ったことや驚きがいっぱいありました。」、「同窓会ってなんだか分からなかったけど、楽しみになりました。」などなどの感想の中で、「この学校と地域に感謝と愛着を持ち続けてゆきたい。」という言葉で結ばれておりました。

この井草中学校で学び、たゆまぬ努力を惜しまない校長先生をはじめ先生方や地域の方々からいろいろな体験で得たものは、すばらしい財産になると思います。

6 年前から青少年委員として母校の担当になり、先生方の日々細心の指導と愛情を生徒たちにかけるエネルギーに接し、今回のテーマ・心豊かに育っている生徒が多いと感じる日々です。

多くの学び体験したことを、卒業生として社会に飛び出し、今度は井草中学校の支えになって下さることを願っております。



卒業おめでとう

ＣＳ学校運営協議会日程　3 月 25 日 16 時～　於プレイルーム
☆ どなたでも傍聴いただけます。（一部内容により非公開）

同　日　１５時～　ＰＴＡ運営委員とＣＳ運営協議会委員の懇談会を行います。（傍聴可能）

井草中ＣＳ委員会　広報部会編集